

スポーツを始める動機および継続理由について

森岡 寛玄 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 鳥羽 賢二

キーワード 動機 動機づけ 継続理由

1. はじめに

スポーツを楽しむ、支え、育てることを通じて、スポーツの持つ多様な意義や価値が社会全体に広く共有されている。しかし、近年、少子化や児童を取り巻く環境変化等により、児童のスポーツ活動への意欲が減少傾向にある。

そこで本研究は、まず児童がスポーツを始めるきっかけについて、どのようなものであるかの実態を探る。次に競技を始めた児童がどのような環境におかれ、そのスポーツを継続できているのかの背景を知ることがテーマとした。

それらを究明することによって、児童がスポーツを身近に接することができ、またそれを継続しやすい環境はどのようなものかを探った。

2. 研究方法

文献調査、インタビュー調査後、それを元にアンケート作成を行い、本学学生 102 名を対象にアンケート調査を行い、分析を実施した。

3. 結果と考察

(1) スポーツを始める動機について

図 1 に示したように、児童がスポーツ活動に取り組むための動機づけに多くの影響を及ぼすのは、「友人」、「家族」といった身近な存在である。児童期のスポーツ導入は、身近な人からの情報を得ることにより、動機付けに繋がる。

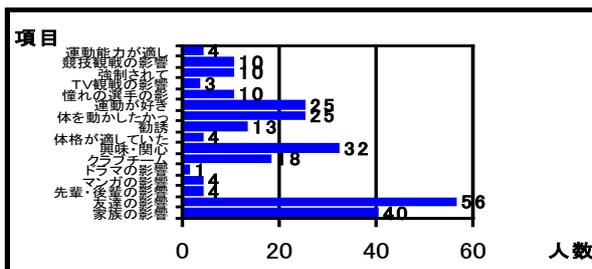


図 1 スポーツ始める動機

(2) 継続理由について

図 2 は、本学学生 of スポーツ継続理由である。「最後までやり遂げたい」、「競技に愛着がある」といった解答が多い。端的に言えば「うまくなりたい」、「最後までやり遂げたい」、「プロになりたい」等の達成意欲の高い学生がスポーツを継続している。

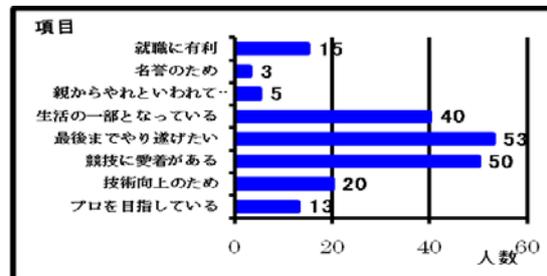


図 2 継続理由について

4. まとめ

まず、スポーツ導入には身近な人が多く関わるが、実はそのスポーツ活動の現場が不足していることが問題となっている。地域クラブチームの現状や児童がスポーツを行う環境に問題がある。現在、文部科学省が掲げている「スポーツ立国戦略」を進めていくことにより、こうした問題解決にも繋がると推考する。地域行政、地域市民などが協力して、総合型スポーツクラブのスムーズな設立とその充実が早い時期に必要なになる。

そうしたことで、児童がスポーツを楽しむ機会に恵まれ、スポーツを継続できることに繋がるのである。

参考文献

文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>